

事業所名 ひだまり北上中央（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2024年

9月

13日

法人（事業所）理念		法人理念：人に尽くし 人に学び 人に感謝せよ							
支援方針		障がい児が日常生活に必要な基本的動作を身につけ、生活能力の向上が図られるよう個別・集団活動を組み合わせ、子ども同士、職員、地域社会との交流等を通じて本人・家族の立場に立って支援します。							
営業時間		(月)～(土)	10時	00分から	16時	00分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康な心と体を育て健康で安全な生活が送れるよう支援します。（定時の検温、体調チェック、交通安全、防災訓練等） 身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。（ライフスキルトレーニング、トイレトレーニング等） 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な姿勢保持や運動・動作の習得を図ります。（施設内や公園での遊び等） 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します。（トランポリン等を使いバランス感覚と空間認識の養成、手指のスキル、道具の使い方等） 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用し、認知機能の発達を促す支援を行います。（ビジョントレーニング、音楽やリズムを使って五感を刺激する活動等） 物の形、色、音、空間・時間等の概念への気付きを促し、生活の中で活用できるよう支援します。（パズルや知育玩具、記憶力ゲーム、コグニティブトレーニング、SST等） 数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行います。（パズルや知育玩具、マッチングゲーム、絵カード、ぬりえ、お絵かき等） 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等、言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。（好きな玩具での自由遊び、絵本の読み聞かせ等） 話し言葉や記号等を用いて、相手の意図の理解や自分の考えを伝達するなど、言語表出への支援を行います。（絵カード、ジェスチャーや表情、マカトン等） 障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。（絵本の読み聞かせ、文字のなぞり書き等） 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 周囲と安定した関係を形成するための支援を行います。（挨拶、感謝や謝罪の表現の練習、褒める習慣等） 遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。（見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊び、適切な行動や会話の体験等） 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。（友達との関わり方体験、グループ活動、社会参加活動等） 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な面談、随時送迎時等に子どもの成長や課題について保護者とコミュニケーションを図りながらサポートします。 ペアトレを参考にしながら、家庭でも継続的に子どもを支援できるようサポートします。 お便りやブログで随時相談を受け付けている事を周知し、気軽に相談できる環境を提供します。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との情報共有を通じて、継続的なサポートを受けられる環境を整えます。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地区センターや図書館、体育館など、地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 学校や地域の福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。 地域の清掃活動や奉仕作業に積極的に参加し、障害についての理解を広めます。 避難訓練の避難場所を地域の公園や地区センターに設定することで、地域との繋がりを構築し、災害時の対応力を高めます。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 月一回の職場内研修やケーススタディを通じて、最新の知識と実践的なスキルを学んでいます。 法人が行っている資格取得のための費用補助や学習支援、資格講座の受講等を推奨し、職員の専門性を高めます。 懇親会を通じて、職員間の協力体制と絆を整えています。 一人一研究の情報共有等、職員が自主的に学ぶ環境を整えています。 働きやすい環境の整備やライフワークバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図っています。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 音楽療法（月1回土曜日） 季節行事（花植え、夏祭り、開所記念日、音楽鑑賞、敬老訪問、ハロウィンパーティー、クリスマス会、各月お誕生会等） 							

事業所名

ひだまり北上にこっと（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2024年

9月

1日

法人（事業所）理念		法人基本理念：人に尽くし、人に学び、人に感謝せよ							
支援方針		事業所方針：日常生活に必要な基本的動作の習得、集団生活への適応力を高めるための指導訓練及び将来的な自立につながる支援を、利用者・家族の立場に立っておこないます。利用者の意思を尊重し個性を認めながら、自信につなげます。							
営業時間		平日	10時	00分から	16時	00分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土	10時	00分から	16時	00分まで			
		※営業時間外の利用については、応相談。							
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	○スケジュール：個別のスケジュールを使い、日付や天気、今日の予定を確認し、見通しをもって生活ができるよう支援します。 ○身辺自立：衣類や靴などの着脱、トイレトレーニングなどを通して、自分でできることを増やします。							
	運動・感覚	○大運動：トランポリンや、音楽に合わせた運動、手本を見ながら行う運動を通して、自分の身体の動きを意識しバランス感覚を養います。 ○手指運動：手指を使って、つまむ、すくう、はさむ、積み上げるなどの運動を行い、手指の機能を高めます。 ○制作：はさみやのり、折り紙などを用いて、適切な道具の使い方、手指の使い方について実践します。また、自己選択の機会を提供し、創造性を高めます。							
	認知・行動	○マッチング：パズルや積み木、絵カードなどを使い、同じ物を合わせたり仲間分けをおこないます。合わせて物の名前や用途を学び、認知力を高めます。 ○音読：個々の認知度に合わせて、読み聞かせ、声に出して読む、音読などに取り組み、文字への興味を広げる機会を提供します。							
	言語コミュニケーション	○発音：簡単な言葉（パパ、ママなど）の手本を見せたり真似をして発音し、発語を促します。 ○指示理解：絵カードや言葉など、個々の発達に合わせて指示を伝え、返事をする、身振りを真似る、課題をおこなったりします。伝える、伝わる経験を増やしコミュニケーション方法を増やします。							
	人間関係社会性	○外出活動：地域の施設やお店に出掛け、イベントに参加したり買い物などを行います。自分で会計を行う、社会的マナーを守ることを実践し、自立に向けて支援します。 ○自己紹介：自分の名前や年齢、好きなこと、苦手なことなどを発表します。自分や相手を知ること、相手に関心を持ったり違いを受け入れることを学びます。							
家族支援		○定期面談：定期面談や、必要に応じて個別に面談を行う場を設け、困りごとに対するの助言や情報の共有をはかります。 ○保護者会活動：保護者会行事の案内のお手伝いや、保護者同士のつながりを持つ機会を提供します。			移行支援		○園やライフステージに合わせた移行先と情報共有を行い、連携をはかります。		
地域支援・地域連携		○園や相談支援事業所、併用事業所、医療機関との連携、情報共有を行い、お子さまを中心としたネットワークを構築します。 ○外出活動を通じた自立支援：地域の図書館や施設、お店などを利用し、地域の資源を活用します。			職員の質の向上		○事業所内部研修：月1回の所内研修を通して、専門的な支援技術やひやりはっとの検討を行い、サービスの質の向上に努めます。 ○一人一研究：年1回、法人全体の取り組みとして1人ずつ研究テーマに取り組み、法人全体の支援技術の向上をはかります。 ○外部研修への参加：虐待防止や人権養護、苦情対応、障がい特性などについての外部研修に積極的に参加し、実践的なスキルを学びます。 ○働く環境の改善：定期的な面談や計画的な有給休暇の取得、業務の軽減化をはかることで、働きやすい環境を作り、職員のストレス軽減を図ります。		
主な行事等		○季節行事：誕生会、卒業、進級を祝う会、ハロウィンパーティー、クリスマス会、音楽コンサートなど							

事業所名

ひだまり北上☆きらり

支援プログラム

作成日

R6

年

9月

5日

法人（事業所）理念		人に尽くし、人に学び、人に感謝せよ		
支援方針		利用者の発達過程や特性、コミュニケーション面での配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した支援を行います。個別での支援を基本とし体調の変化に配慮しながら一つでも多くの経験を一緒に体験します。地域における生活が豊かに継続できることを念頭に置き、関係各所との連携を図りながら本人を中心とした支援に努めます。		
営業時間		月曜日から金曜日：9時から17時	送迎実施の有無	あり なし 片道30分以内で対応しています。
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康管理：体調不良など意志の表出が難しい利用者の表情や普段と違う様子を確認し対応しています。また、清潔の保持、身体の変化の確認のため定期的な入浴を行います。 生活リズムの確立：保護者の協力を得ながら規則正しい生活を送れるよう食事、排泄、入浴などのスケジュールを確認しています。 健康の増進：楽しく食事ができるよう、咀嚼、嚥下、姿勢保持などの改善に努め口腔ケアも実施しています。 医療的ケア児への適切なケアの実施：主治医の指示書を基に医療的ケアの提供や機器の準備など環境整備も行います。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 身体機能の向上：動作法訓練で身体の緊張の部位を緩めたり、関節の拘縮や変形への予防を図ります。また作業療法では日常生活に必要な動作の基本的技能の向上を目指します。また、音楽療法では楽器の演奏などで振動やタッピング、体操を通して身体を意識できるよう支援します。 自己、他者認知と受容：音楽療法では楽器の刺激を受容し、モノに気づくことが出来るように支援します。 感覚の活用：保有する感覚を活用できるよう、トランポリンやボールプール、新聞紙やぶりなどの活動を通して支援します。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感覚の活用：視覚、聴覚、触覚を活用して、これらの感覚から情報が取得され、認知機能の発達を促します。 認知スキルの向上：ボールプール遊びなどで色や形などを視覚、触覚的に感じ取れるよう促しています。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基礎的能力の向上：表情や身振り、おもちゃなどを用いて意志のやり取りができるようになるなど、コミュニケーションに必要な基礎的能力を身につけることができるよう支援します。 コミュニケーション手段の選択と活用：指差し、身振りなどで環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 コミュニケーションスキルの向上：動作法では体を通して他者との関わりを広げます。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 遊びを通じた社会性の発達：音楽療法では楽器への興味を促し、遊びの中で他者とのかかわりを広げられるよう支援します。 模倣行動の支援：遊びを通して人の動きを模倣することにより、対人関係の芽生えを支援します。 地域交流：敬老会や近隣公園への散歩など地域の方との交流の機会を設けています。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 半年に一度、保護者面談を設けモニタリングや計画書の修正、利用者の成長や課題について話し合います。 送迎時には常に声がけをし、保護者が関わり方などに悩んだ時、相談できる関係性を構築していきます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 相談員や保育所等の職員、学校の先生方との必要な情報共有を行い、円滑な移行ができるよう支援します。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の作品展に出品し、社会参加または情報発信に努めます。 地域との重症心身障害児・者対応の防災訓練に参加し、緊急時の対応力を高めます。 地域連携の強化として地域の学校や福祉サービス提供事業所と連携し包括的な支援体制を整えます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価を行い、管理者との面接の実施で職員の成長を支援しています。 毎月内部研修を行い、支援の共通性を確認しています。 各職員に必要なスキルを見極め、研修の受講を促しています。 支援に疑問や不安があった時に相談、話し合える環境づくりをしています。 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節行事：書初め、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会 地域交流：敬老会、コンサート、 			